

1 本時の学習計画 第3時

それぞれが作ったトンボの模型の共通点を探し出していく子どもたちが、トンボを拡大した写真とM・Mの言葉に出合うことを通して、自分のこだわりを持ったトンボと友達のトンボの共通点を見い出す中で自分が気づいていなかったトンボのより細かい特徴に気づき、自らの作品をふりかえったりもう一度トンボを観察したりしてトンボへの理解を深めていくことができる。

トンボを拡大した写真とM・Mの言葉

- 子どもたちは教師が提示したトンボの模型の写真を見比べていく中で、それぞれのトンボの共通点を探し出していくだろう。その中で共通点として挙げられた特徴だけでは本物のトンボの特徴とは言えないということに気づき、疑問に思っていくだろう。そこで学習材を提示する。
- 本学習材はトンボの体のある一部分を拡大した写真とM・Mのトンボの羽の付き方に関する言葉である。この学習材に触れたH・Mは自分が本物のトンボを観察する中で見つけたトンボには毛が生えているという特徴を語り始めるだろう。拡大写真を見たS・Hくんはトンボの細かい特徴に気づき、もう一度本物のトンボを観察したいと願うだろう。そして、子どもたちは本物のトンボへの理解をより具かめていくことが期待できる。

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握	1 学習問題を確認する。	学習問題 粘土で製作したトンボの共通点はなんだろう。 ・羽は 4 枚、足は 6 本ある ・体が 3 つに分かれている ○他にも特徴はあるよ	10'	・前時までに製作したトンボの模型の写真を提示し、共通点を問う。 ・共通点以外にもトンボに関して気づきがあったかを問い、学習材を提示する。 学習材 トンボを拡大した写真とM・Mの言葉
展開	2 各自のトンボに関する疑問を、更に観察したり製作したりして追求する。	・もう 1 度本物のトンボを観察したい ・外からは見えない内側を観察するために分解したい ・新しい特徴が見つかったからトンボの模型を修正したい	25'	・子どもたちが自らの疑問を解決するための活動を支援する。 評価 子どもたちの中に生まれた問いを自ら解決しようとする様子を活動から捉える。
終末	3 本時の追求をふりかえる。	・よく見てみたら足にとげのようなものがあった ・羽や足がどのようにして付いているのか観察できた ○トンボの特徴を新しく知ることができる活動ができた。	10'	○今回の活動で得られた新たな発見や感想を学習カードに記述させる。